©河北新報社 2010

**NIE特集**
**Newspaper In Education**

## 台原小

学校名　仙台市立台原小学校
所在地　仙台市青葉区台原５の16の１
電　話　022（234）1361
校　長　佐藤　豊喜
児　童　633人

# 流れる白い上薬 魅了

## 堤焼の歴史を探れ！

**知り隊**

台原小では、総合的な学習の時間に3年生が堤焼の土鈴作りをします。堤焼は近くの堤町で作られていますが、いつ、だれが、どのように始めたのか、どんな特徴があるのかよくわかりませんでした。詳しく知りたいと思い、土鈴作りの時に教えていただいた「つつみのおひなっこや」を経営する堤人形作家・佐藤明彦さんにお話をうかがいました。

お店の中で、佐藤さんに取材する

「堤焼は今から350年前、江戸から招かれた陶工の上村万右衛門が堤町で水がめや味噌がめなどの生活用品を焼いたのが始まりです」と佐藤さんは説明してくださいました。

## 伝統の人形とだるま

表面に白っぽい上薬が流れているのが特徴です。仙台に来た上村は、焼き物に適した良い土がたくさんとれたことから堤町を選びました。

お店の前の細い通りが昔の奥州街道です。たくさんの旅人が通ったそうですが、昔の人たちも堤焼のすばらしい人形を手に取ったことでしょう。

昔はたくさんあった堤焼の店も、昭和の時代になり、周りが住宅地になったため、法律で焼き物の窯から煙を出せなくなったことや、土を掘れなくなったことで、どんどん少なくなり、今では堤人形を作っているお店は2軒しか残っていません。「おひなっこや」さんでも、土は福島県と滋賀県から取り寄せています。

店の裏手に案内していただきました。今では使われなくなった登り窯を見せていただくと、窯が階段状になってつながっていました。ここから煙が出て焼き物を焼く光景を二度と見ることができないなんて、さびしいなと感じました。

「おひなっこや」さんでは、1年に3000個の堤人形や松川だるまを作っています。お祝いや記念品として買っていく人が多いそうです。店には大小たくさんの人形が並んでいて、一番売れるのが毎年の干支の人形ということです。

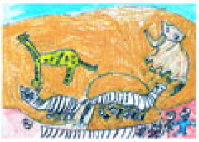
佐藤さんは最後に、「（作品を）喜んで飾ってくれることが一番うれしい。次世代の人にも伝統を教え続けるために今も頑張っているんです」と話してくださいました。

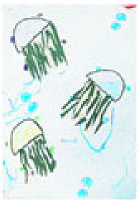
◇　◇

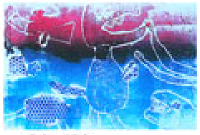
堤焼は江戸時代から受け継がれてきた伝統工芸です。貴重な技をいつまでも残してほしいと思いました。みなさんもぜひお店をのぞいてみてください。作品を見て感動すること間違いなしです。

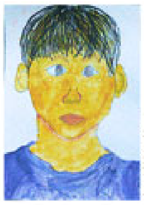
文・菊池優花、小田栞、安孫子実那、犬飼真子（6年）

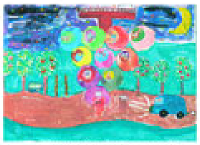
## うきうきキャンバス

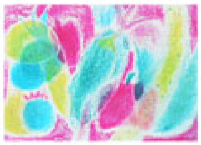

どうぶつえんにいったよ
１年・舟山優作


ふんわりミズクラゲ
２年・中条葵


恐竜の戦争
３年・菊地凌


10歳のぼく
４年・金沢吏佐


とつぜん現れたブドウアパート
５年・猪股有羽


野菜たちのお祭り
６年・大井茉弥

**教え隊**　仮装大会

## キャラにふんし熱演

9月16日に開催された仮装大会

9月16日、児童会が中心となり「第１回丘の子仮装大会」を開催しました。

真っ暗な体育館の中央に置かれたステージの上で、12組の出場者がスポットライトをあびて２分間の制限時間の中、キャラクター（スーパーマリオ、シンデレラ、忍者…）になりきって熱演しました。全校児童が大きな拍手と歓声で盛り上げました。

仮装大会を通してすべての学年が交流を深めることができたと思います。これからもこの大会をずっと続けて、さらに楽しく、おもしろく、伝統ある大会にしていってほしいと思いました。

文・佐藤拓明、板井雅人、菊田智仁、後藤桃子（６年）

## 編集後記

編集委員全員で「つつみのおひなっこや」の佐藤明彦さんに取材をして、堤焼についてお聞きしました。

この取材の中で印象に残ったことは、一つ一つていねいに手作りされた作品と、登り窯の迫力でした。そこに長い歴史と伝統を見たような気がしました。

今回、編集を担当したことで「文章を書くことの難しさ」を感じました。この経験を今後の勉強にも役立てていきたいです。

小学校生活最後の年に、とても良い思い出ができました。この記事を楽しく読んでくださったら、話し合いや取材で苦労したかいがあったなと思います。

〈編集委員〉佐藤拓明、板井雅人、菊田智仁、菊池優花、安孫子実那、犬飼真子、小田栞、後藤桃子（６年）
題字デザイン　丹野泉、針生麻郁（６年）
〈指導教諭〉千葉政典

**言い隊**

### ■ 政治する人は提案を ■

ぼくは、大人の人たちに言いたいことがあります。それは、政治のことです。

最近は総理大臣が次々に代わって、ぼくの目には、あまり政治がしっかりしていないように見えます。それに話し合いの様子をテレビニュースで見ると、「こうしたい」とか「どうするか」という提案よりも、「これはだめだ」などという否定の方が多いように聞こえます。

ぼくたちも学校の国語で討論会をやりましたが、やってみると、否定するのは簡単だったけれど、提案するのは難しかったです。それでも、簡単に否定するよりも、頑張って新しい提案を出すような、そんな人が政治をやってほしいな、と思います。

（６年・酒井幹太）

### ■ 大人はマナー守って ■

町のハンバーガーショップに行ったときのことです。となりの席の若い人が、いすの上に足をのせて、けい帯で何かをしていたので、足が私のところまで来て迷惑でした。ほかにもふつうの声で話せばいいのに、食べながら大きな声で話す人がいました。

いすの上に足をのせる姿勢は体に悪いし、大きな声で話すと食べ物が飛んだりうるさくて周りに迷惑がかかったりするので、マナーを守ってほしいと思いました。

マナーを守れば、みんなが楽しく話したり食べたりできると思います。私から大人への注文は、マナーを守ることです。

（６年・本郷とわ）

毎月第２・４火曜日発行　これまでの掲載校の紙面を河北新報のホームページ（ＫＯＬＮＥＴ）で見ることができます。